

DAN!!!

TIMES

消防団は地域防災の要。
地域の安全と安心を守ります。



令和2年3月14日は 「みやざき消防団の日」

平成31年3月16日に、「みやざき消防団の日」が制定されました。これは、日頃から地域の安全のために活動している消防団に対して感謝の気持ちを表し、消防団員の士気高揚と消防団への加入促進を図るために制定されたものです。「みやざき消防団の日」は宮崎県消防大会の日とされており、令和2年は3月14日が制定後、初の「みやざき消防団の日」となります。

県内で消防団員が減少傾向にある中、大学生や専門学校生などの学生団員は少しずつ増えています。みやざき林業大学に通いながら、諸塚村消防団で活動する3人の学生に話を伺いました。



山間部で活躍する若い力!!

活動を通して地域と交流できることが楽しみでもあり、最大のやりがいです

帰郷をきっかけに入団

「昔から私たちの地域には消防署がないこともあって、自分たちの地域は自分たちで守るという意識があるんです。だから、消防団に入ることに抵抗はありませんでしたね」と口をそろえる3人。永坂さんは数年前から、田原さんと佐藤さんは昨年から消防団員として活動しています。活動は、月に1、2回程度で、おもに水出しや器具点検を行い、いつ起きるか分からない災害に備えています。「今年は台風が多かったので、民家の補修作業にあたることが多かったですね」と永坂さん。地域の方から

感謝されることも多く、やりがいは大きいと話します。



地元だからこそ温かさ

人口が1500人ほどの諸塚村。都市部に比べて地域の結びつきが強いことは、活動のしやすさにもつながっています。「何かあったら、消防団OBの方やそうでない方も手伝ってくれますし、幼い頃から知っている顔ぶれがそろっているだけに、活動しやすい雰囲気、みんなで和気あいあいとやっています。小さい村だからこそ行事も多いですが、楽しいですよ」(永坂さん)「地



左から、永坂亮也さん(諸塚村消防団 第7部)、田原大穂さん(同6部)、佐藤大晃さん(同7部)

域の中でも知らなかった人たちと交流できて楽しいです」(佐藤さん)。

若い団員が少ない中で、貴重な存在でもある彼ら。地域の温かさが原動力となり、地元で貢献していきたいと3人は意気込みます。「困っている人がいたら手を差し伸べられる団員になります」(田原さん)「入団して1年目なので、技術をしっかり身に付けて頑張っていきます」(佐藤さん)「何か起こったときに自ら考えて行動できる団員になりたいと思います。何より地域の方々が安全に暮らせることが1番の望みです」(永坂さん)。

このように、消防団ではたくさんの若い人たちが活躍しています。みなさんも自分たちの地域のために、消防団で力を発揮してみませんか。



学生大活躍中!!



宮崎大学の地域資源創成学部では、「地域の防災を担いたい!」という学生らが集まり、平成28年よりサークル『宮崎大学学生消防隊』を発足。現在、男女合わせて40名以上が在籍しており、屋内消火栓の操作訓練など、活動内容は実際の消防団さながら。サークル内には、住んでいる地域の消防団に加入している学生も多く、地域防災の要として大活躍中です。

ご存知ですか? 学生消防団活動認証制度

消防団員の平均年齢が上昇する中、地域の防災を支える貴重な人材として期待されているのが大学生や専門学校生です。宮崎市では大学生などの消防団活動への参加を促すため、平成28年6月1日から「宮崎市学生消防団活動認証制度」を開始しました。

この制度は、①大学生の消防団入団を促すこと、②入団して活動する大学生の就職活動を支援すること、という2つの目的があります。認証の条件は(1)大学生、大学院生、専修学校生および各種学校生(以下、大学生など)が対象、(2)在学中に消防団員として1年以上継続的に消防団活動を行った場合や、消防団活動で特に優れた功績があった場合、となっています。企業にとっては認証を受けた大学生などを採用することで、災害発生時の早期対応が期待でき、危機管理体制の強化が図れるというメリットがあります。県内では、ほかに綾町、都城市、延岡市、日南市でも導入しています。

火消しだけじゃない! 消防団の活動

消防団はおもに、火災や災害、捜索活動の現場において出動しています。しかし、活動の幅はもっとあるんです。意外と知られていない消防団の活動を紹介します。



新年の恒例行事

1年のはじまりは出初めから!

新年の恒例行事である「出初式」は、消防関係者にとっての仕事はじめを意味するもので、1月上旬に各地域で行われます。出初式では、地区ごとに分かれる分団でこれまでの訓練の成果を競ったり、イベントと絡めて盛大に開催するなど、地域によって特徴はさまざま。式の締めくくりには、一斉に放水が行われ、圧巻のフィナーレを迎えます。



日頃の訓練の成果を発揮 消防操法大会

消防操法とは、訓練における基本的な器具操作・動作の方式のことで、その速さ・正確さ・動きのきれいさを競う大会が全国規模で行われています。

高千穂町消防団機動分団第2部は、平成30年に富山県で行われた、全国消防操法大会ポンプ車の部に宮崎県代表として出場し、見事優良賞(6位)を受賞しました。日頃の成果が問われる消防操法大会。団員たちは自団のプライドに懸けて、日頃の訓練に臨んでいます。



[機能別消防団員・分団]

活動いろいろ



豪雨災害や水難事故で力を発揮 宮崎市消防団水上バイク隊



より多くの方に消防団活動に参加してもらうために、「機能別消防団員・分団」という制度があります。それぞれの能力やメリットを生かしながら、特定の活動や無理のない範囲での活動も可能です。

機能別消防団員・分団の一例

- ・ラッパ隊 ・OB団員 ・後方支援
- ・啓発活動 ・水上バイク隊
- ・大規模災害時のみ活動する団員

防火・防災PRキャラクター マッチマン



※機能別消防団員・分団の有無は消防団により異なります。

「火事の時は119番すれば消防署が消火に駆けつけてくれるでしょ。なんで消防団が必要なの?」「そもそも消防団って何をしているの?」。消防団について同様の疑問を抱いている人が多いのではないのでしょうか。消防団の活動や特徴をまとめましたので、本当の消防団を知ってください。



これがほんとの消防団

意外と知られていない消防団と消防署の違い

消防団

- 他の仕事を持つ人などが活動している消防機関
- 県内すべての市町村に設置されている
- 団員の数は消防職員の約5.1倍
- 団員は地域内に居住または勤務している人

消防署など

- 職員が常駐し、消防業務に従事する常備の消防機関
- 宮崎県内では全市町村にあるわけではない
- 救急車による救急搬送を行う

災害時の消防団活動

消火活動

火災が発生すると消防署からの要請に基づいて現場に駆けつけ、消火活動に当たります。

救助活動

自然災害時、地域密着の消防団ならではの強みを活かして、的確かつ迅速に救助・救出を行います。

水防活動

台風や集中豪雨の際、河川の氾濫や堤防の決壊が起きないよう様々な防災活動を行います。

平常時の消防団活動

防災啓発活動

住民の防災意識向上のため、火災予防や防災啓発などを行っています。

救命講習会

住民がいざというときに対応できるよう、応急手当の普及・啓発を実施しています。

住宅防火訪問

各家庭を訪問し、防火啓発を行うと共に災害時に支援が必要な人の把握に務めます。

女性パワーも欠かせない!

消防団は、男性だけの組織ではありません。全国で約2万7千人の女性消防団員が活躍しており、その数はますます増加中。幼稚園や保育園での防災教室や高齢者宅の訪問など、女性だからこそできる活動がたくさんあります。現在、県内全ての消防団に女性消防団員が所属しています。

一人暮らしの高齢者宅を訪問しての防火点検や子どもを対象にした防災教室のほか、人工呼吸や応急手当の普及指導など、細やかな視点を活かしての防災啓発などを行っています。

人の役に立てるよこび

「五ヶ瀬町にも女性消防団員を」という町の動きに応え、五ヶ瀬町女性消防団員の第一期生として入団した中西さん。それから11年間、「地域のために」という想いを胸に活躍を続けています。

中西さんたち五ヶ瀬町女性消防団員の主な任務は、学校や地域を訪れての救命講習。町内に消防署がない五ヶ瀬町では、いざという時に一般の人が応急手当をできるかどうかがとても重要です。

「五ヶ瀬町には高齢者が多い上、山間部などでは救急車が到着するまでに時間がかかります。だから、応急手当は地域の皆さんの命に関わるんですよ。

以前、講習に参加されたおじいちゃんから、「ありがとう。これで妻に何かあった場合も助けてあげられる」と感謝の言葉をいただいたんです。人の役に立てるってこんなにうれしいことなんだと感じましたね。これからもラッパ隊や寸劇など、活動の幅を増やしていきたいです」



消防団の活動がわかる動画を配信しています!!



消防団の活動をわかりやすくまとめたアニメーション動画をYoutubeで配信! ぜひ、上のQRコードからご覧ください。

五ヶ瀬町消防団本部
中西由実さん

女性の団員も増えています!

この5年間で

35%増!!

平成31年
407名

平成26年
303名



求ム、消防団員!

宮崎県内の消防団では、年齢18歳以上で消防団活動に参加できる人を募集しています。団員の年齢層は幅広く、自営業者、サラリーマン、学生、主婦など様々な人が集まっています。入団希望者は、お住いの市町村役場又は消防本部へお問い合わせください。

災害から子ども達を守る!!

全国女性消防操法大会に4番員で出場しました!

消防団を知ったきっかけは父ですが、入団しようと考えようになっただけの子どものために自分が出来ることないかと思い入団しました。今は地域との交流も沢山ありとても楽しく活動しています。

小林市消防団
女性部
岩切 亜委さん



消防団の事がもっと分かる!

消防団だより「DANI!」のバックナンバーはこちら。動画も閲覧できます!



お問い合わせは各消防本部・市町村消防担当課まで